

クリスマスエリカ

現 状																						
<p>1. 生産規模</p> <p style="text-align: center;">出荷量・出荷農家数の推移</p> <table border="1"> <caption>出荷量・出荷農家数の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出荷量 (千鉢)</th> <th>出荷農家数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>1.5</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>4.0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>7.0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5.5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>4.0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">総合農業技術センター</p> <p>・出荷量（認証農産物）は減少傾向にあるが、気候条件による影響を受けやすく、年による変動が大きい。</p>		年	出荷量 (千鉢)	出荷農家数 (人)	H16	1.5	14	H18	4.0	8	H20	7.0	10	H22	5.5	7	H25	4.0	10	<p>2. 生産者の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培技術の高位平準化を図るため、研究会で定期的な生育状況の確認や検討を行っている。 夏期、高標高地に山上げし、開花期の前進化と高品質化を図っている。 <p>3. 県の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 県が技術開発したオリジナルフラワーとして、平成18年に栽培方法の特許を取得し、ブランド化を図っている。 高度な技術により栽培され、高い品質基準を満たした生産物を「富士の国やまなしの逸品農産物」として認証している。 開花期の前進化を図るため、高標高地への山上げ技術を開発した。 		
年	出荷量 (千鉢)	出荷農家数 (人)																				
H16	1.5	14																				
H18	4.0	8																				
H20	7.0	10																				
H22	5.5	7																				
H25	4.0	10																				
課 題		対 策																				
<p>1【生産】</p> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 開花時期が不安定であるため、11月からの販売需要に対応できていない。 出荷量・時期が出荷直前まで把握できず、販売しにくい状況が続いていることから、早期開花に向けた技術開発が求められている。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ブランドを維持するため、栽培技術を生産者間で平準化し、認証率をさらに上げる必要がある。 <p>2【販売】</p> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量・時期が出荷直前まで把握できず、年度による成歩率の差や生産者間の品質差が大きく、販売活動への影響が大きい。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> クリスマスの定番商品として定着させるため、管理方法や飾り方などの商品情報を消費者や小売店に提供する必要がある。 魅力ある商品作りや販売促進活動の推進を支援する必要がある。 		<p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合農業技術センターの試験研究課題「変温管理による低コスト鉢花栽培技術の確立」(H27～29)で変温管理技術による早期開花技術の有効性を確認し、技術確立を図る。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者組織の現地検討会等の活動を支援するとともに、関係機関と連携し、計画的な生産を支援する。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 有利販売に向けて、JAが実施する生育状況や市場への出荷時期・数量など、情報発信を支援する。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者組織や農業団体が品評会等のイベントを通じて、消費者への商品情報の提供を支援する。 消費者のニーズにあわせた商品作りや販売促進活動を支援する。 																				
対策に向けたスケジュール	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1																		
1 -	栽培技術確立	技術普及																				
2 -	栽培技術支援・組織活動支援																					
-	産地情報収集・情報提供																					
2 -	商品等情報発信支援																					
-	販売促進活動支援																					